

人間動物関係学特論演習(二) (2単位)

担当者氏名 小川博・土田あさみ・増田宏司

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

動物の家畜化や人との共存・共生の歴史、行動、遺伝などの動物学的特性、人による行動管理、社会的な問題などの様々なテーマについて、国内外の文献を熟読し、その内容をまとめ発表し、教員と受講生全員で討議し、研究活動に生かすことを目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

人と動物の共生 人と動物の関係 動物の行動特性 動物の社会貢献

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	暮らしの中の動物	講読する文献の紹介と目標設定	動物の家畜化や歴史、動物としての特性から社会での役割、人との共生問題に関する理解を深める。事前学習を行い、教員に質問するなどして授業内容を理解するよう努めること。
2	動物の特性	動物の特性に関する文献講読と討論	
3	動物のコミュニケーション	動物のコミュニケーションに関する文献講読と討論	
4	動物の認知科学	動物の認知科学に関する文献講読と討論	
5	動物の行動発達	動物の行動発達に関する文献講読と討論	
6	動物の育種	動物の育種に関する文献講読と討論	
7	動物の人への効果 1	動物の人への効果に関する文献講読と討論 1	
8	動物の人への効果 2	動物の人への効果に関する文献講読と討論 2	
9	動物の社会的貢献 1	動物の社会的貢献に関する文献講読と討論 1	
10	動物の社会的貢献 2	動物の社会的貢献に関する文献講読と討論 2	
11	動物管理関係法規	動物管理に関する文献講読と討論	
12	動物飼養管理	動物飼養管理に関する文献講読と討論	
13	動物の利活用	動物の利活用に関する文献講読と討論	
14	人と動物の関係	人と動物の関係の展望について文献講読と討論	
15	授業の総括	総合討論	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

適宜資料を配布する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

バイオセラピー学入門 (講談社) ほか、授業の中で提示する。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

文献に関する意見や討論会における発言の状況などにより評価する。

◆オフィスアワー

火曜日 16:30~17:30 (土田)、金曜日 16:00~17:00 (増田)、火曜日研究室にて質問等を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項